

道路ネットワークの整備

～観光交流を支援するため、
観光ルート of 整備を推進～



至 会津若松市

会津若松裏磐梯線(檜原3) 道路整備

至 米沢

ひばら橋(R7.5)

令和7年3月末現在 事業進捗率59%

事業の目的

会津若松裏磐梯線は、会津若松市を起点とし、磐梯山ゴールドラインを経由して、北塩原村の西吾妻スカイバレーに至る幹線道路です。県内有数の観光地である裏磐梯地区の観光に欠かせない路線であるとともに、地域住民の生活道路です。

当該区間は、幅員が狭小で大型バスのすれ違いはもとより、乗用車同士のすれ違いも困難な箇所があり、急カーブも連続していることから、安全で円滑な交通を確保するため、道路の整備を進めています。

事業の概要

事業年度 平成26年度～
計画内容 改良工 L=1.1km

R7事業内容
橋梁上部工 N=1 橋
改良舗装工 L=160m
法面修正設計 N=1 式



現道状況



現場見学会
(喜多方第3小学校、R6.9)



本現場は、磐梯朝日国立公園に指定されている。環境保全への意識向上を図るため、環境対策講習会を実施し、環境保全に留意しながら工事を進めています。

東開工業株式会社 現場代理人

(喜多方建設事務所 道路課)